

マイマイガの駆除にご理解とご協力を

今年も大量発生が予想されているマイマイガは、発生を止める方法や一斉に駆除する有効な手段がないため、幼虫などの駆除や成虫を寄せつけないよう、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

幼虫の駆除

草むらや広葉樹などの樹木に生息し、葉を食べて成長する幼虫は、5回程度脱皮を繰り返します。

大きくなった幼虫には、殺虫剤や農薬が効きにくくなり、捕殺するのが有効です。

▼バケツに水と少量の洗剤（※）を入れておき、火箸や火ばさみで捕まえ、中に入れて溺死させます。

※洗剤を入れないと浮いてしまい溺死しません。

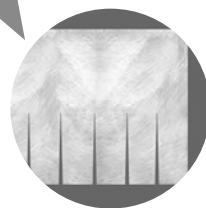


幼虫は7月上旬に大きいもので8cmほどに成長します。

- 溺死させた幼虫は可燃ごみに、使い終わったバケツの水は下水道などに処理しましょう。（河川や側溝には流さない）
- 幼虫に直接触れるとかぶれなどを引き起こす場合がありますので、長そでや手袋を着用しましょう。
- ▼ 樹木の幹に、農作物の寒さよけや日よけとして使う寒冷紗などを巻き、幼虫を集めて駆除します。
- ① 作業しやすい高さに巻きます。
- ② 樹皮に密着するように1周巻き、上下をホチキスなどで固定します。
- ③ 2周目を巻き、上だけホチキスなどで固定します。



北海道立総合研究機構 林業試験場提供



切り込みを入れる

- ④ 2周目の布をのれん状になるように下端から20cm近く切り、布の中に幼虫が潜りやすいようにします。

サナギの駆除

幼虫は7月上旬以降、樹幹や物陰などでサナギになります。サナギの期間は2週間程度です。▼袋に入れて可燃ごみで出してください。



サナギの大きさは3~4cmほどです。（北海道立総合研究機構林業試験場提供）

マイマイガの成虫を寄せつけないために

マイマイガの成虫は照明の明かりに集まる傾向がありますので、寄せつけないためには消灯が効果的です。

- 玄関などにある外灯のうち、消灯できるものは極力消しましょう。
- 室内照明の外部への漏れを防止するため、カーテンやブラインドを有効に使い、室内の明かりを外に漏らさないようにしましょう。
- 商店など事業所の看板照明や敷地内の電灯の自粛にご協力ください。

効果的です！LED電球

虫が寄り付きにくい照明器具にLED照明があります。また、この照明は従来の蛍光灯に比べ長持ちし電気料が安いのが特徴です。

市では、町内会が管理する防犯灯をLED照明に切り替える際の支援制度も設けていますので、ぜひこの機会にご検討ください。



問合せ先 市民活動推進課 ☎35-3412

グラウンド照明や中学校体育館の利用を休止

市では、小中学校を含む屋外スポーツ施設の夜間照明や中学校体育館の夜間利用を、次の期間使用休止します。

利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

休止期間

7月15日(火)
～8月25日(月)

※成虫の発生状況に応じて前後する場合があります。

問合せ先

スポーツ推進課 ☎35-3157
教育総務課 ☎35-3153